

令和3年度 第1回 土岐川庄内川流域委員会

議事要旨

日時：令和3年8月4日（水）15:30～17:00

場所：庄内川河川事務所 2階 第1・2会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

■ 1) 土岐川庄内川流域委員会規約（改訂案）の確認

- ・土岐川庄内川流域委員会規約改訂について承認された。

■ 2) 前回の委員会における主な指摘事項とその対応

頂いたご意見と事務局回答

- ・下流域への負担を減らす観点でも、流域全体のグリーンインフラの活用は重要。ため池の活用や利水ダムの事前放流により、庄内川本川にどの程度効果があるのか。

→ため池の活用や利水ダムの事前放流による定量的な効果については現在検討中である。

- ・土地利用の変化において、山林が増えている理由はなにか。

→次回以降提示する。

- ・治水の効果を検討する上では、土地利用だけでなく、そこでどの程度経済活動がなされているかという観点も重要である。

■ 3) 最近の情勢

頂いたご意見と事務局回答

- ・水源涵養機能や土砂流出の抑制の観点から森林の整備・保全は重要であるが、民有林に対する補助制度等の対策はどのような状況か。

→次回以降情報提供する。

■ 4) 庄内川水系河川整備計画（第4章第2節）の点検

頂いたご意見と事務局回答

- ・地蔵川の内水対策による庄内川本川への影響についても、定量的な評価を提示してほしい。本川の堰による水位上昇やそのバックウォーターでの八田川の堰上げと地蔵川の内水排除など、相互に関係する事象を総合的に整理されたい。

→次回以降提示する。

- ・地震・津波対策について、「南海トラフ地震対策」といった表現を使うなど一般の方にわかりやすい表現を検討してほしい。また、木曾川の河口部との状況の違いなど整理していただきたい。

→次回以降提示する。

- ・「景観」が維持されているように見えても実は植物の外来種が侵入してきている。植物の外来種の侵入に対する対策についてはどのような状況か。

→植物の外来種については増加傾向である。外来種の分布状況の把握に努め、関係機関と協力しながら外来種防除に努めているところである。

- ・レキ河原が維持できていない整備箇所があるが、今後同じことを繰り返さないような工夫がなされるべき。

→モニタリング結果を踏まえ、適切な整備について検討していきたいと考えている。

- ・河川整備計画の点検のなかでダムや遊水地の防災操作（効果）についても議論があるとよい。

■ 5) 当面の予定

4. 閉会